

公益財団法人まちみらい千代田
第10期第4回評議員会 議事録

1 日時

令和5年5月18日(木)午前10時から午前11時30分

2 場所

ちよだプラットフォームスクウェア 5階 506 会議室

上記の開催場所に存しない評議員は、当法人所定のウェブ会議システムを用いて評議員会に出席した。

3 評議員現在数

9名

4 出席者

(1) 評議員(8名)

鈴木潔(会長)、親泊哲、熊谷エイ、高橋陽子、高山肇、谷真理子、山本久喜、脇宗一郎

[欠席者] 鎌倉勤(副会長)

(2) 理事(2名)

保科彰吾(理事長)、依田昭夫(副理事長、事務局長事務取扱)

(3) 事務局(3名)

堀切俊秀グループマネージャー(以下、「GM」という。)、加藤英明GM、本橋千佐子GM

5 議題

[報告事項]

(1) ちよだプラットフォームスクウェア事業の進捗報告

[決議事項]

(1) 議案第6号 公益財団法人まちみらい千代田 第11期事業計画(案)について

(2) 議案第7号 公益財団法人まちみらい千代田 第11期収支予算(案)について

(3) 議案第8号 公益財団法人まちみらい千代田 第11期資金調達及び設備投資の見込みについて

6 開会、理事長あいさつ、定足数確認、議事録署名人の選任

開会に先立ち、ウェブ会議システムにより、出席者の音声と画像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態になっていることを事務局が確認した。また、配付資料の確認を行った。

定款第25条により、評議員会の議長を務める鈴木会長が開会を宣言し、保科理事長にあいさつを求めた。保科理事長のあいさつに続き、第10期第3回評議員会(令和5年3月22日書面開催)で理事に

選任され、第 10 期第 5 回理事会（令和 5 年 4 月 1 日書面開催）において副理事長及び事務局長に選任された依田副理事長並びに令和 5 年 4 月 1 日付で財団に異動及び新規採用となった職員があいさつを行った。

次に議長が本日の出席評議員について、事務局に報告を求めた。事務局から出席者と定款第 26 条の規定に定める定足数を満たしていることを報告し、議長が本評議員会は有効に成立している旨を告げた。

次に本評議員会の議事録署名人として、事務局から定款第 30 条第 2 項の規定により、本日出席の親泊評議員と山本評議員の 2 名を提案したところ、満場一致の賛成があり、議長が両評議員を指名したところ、本人もこれを承諾した。その後、議題に入った。

7 議事の経過および結果

[報告事項]

(1) ちよだプラットフォームスクウェア事業の進捗報告

保科理事長から、ちよだプラットフォームスクウェア事業についての進捗報告があった。令和 6 年 3 月に区からの借用期限を迎えるにあたり当財団と区が協議し、さらに 5 年間の延長が認められたこと、また次期の事業者については、事業者選定委員会を発足し現事業者より事業提案を求めたところ、令和 5 年 1 月 26 日開催の事業者選定委員会において同事業者が選定され、本年 9 月を目途に新契約を締結する予定である旨の説明を行った。

[決議事項]

(1) 議案第 6 号 公益財団法人まちみらい千代田第 11 期事業計画(案)について

(2) 議案第 7 号 公益財団法人まちみらい千代田第 11 期収支予算(案)について

(3) 議案第 8 号 公益財団法人まちみらい千代田第 11 期資金調達及び設備投資の見込みについて

議事の審議に入る前に議長から議案第 6 号、議案第 7 号及び議案第 8 号は、関連があるため、一括して審議を行いたい旨の提案をしたところ、全員異議なく了承した。

保科理事長が第 11 期事業計画(案)の総論を、依田事務局長が概要と事業体系及び収支予算(案)、資金調達及び設備投資について説明を行った。その後、各 GM から担当事業の詳細について説明を行った。

住宅まちづくりグループの事業は、堀切 GM が説明を行った。

産業まちづくりグループの事業は、加藤 GM が説明を行った。

協働まちづくり・総務グループの事業は、本橋 GM が説明を行った。

なお、説明後に以下のような質疑があった。

(評議員)

マンション実態調査の費用は予算書では委託費に計上されているということか。また、マンションの総会会場費助成について、オンラインでの総会開催についても支援を実施するとしているが、実際の会場利用があった場合ということか。

(事務局)

マンション実態調査の費用は委託費に計上している。また、マンション総会会場費の助成については、実際の会場利用料に限らず、Zoom の年額プランを含めること等を検討している。

(評議員)

現在、中小企業・商店などで人手不足が問題となっている。区内には大学が多く、学生と連携する仕組みの検討など、課題意識をもって取り組んでほしい。

(事務局)

人手不足解消については学生だけでなくシニアの活用等の事例もあるので、関連各所と連携しながら検討をしたい。

(評議員)

インキュベーション施設の調査・研究の結果は、今後の事業展開に何か影響があるか。

(事務局)

今回の調査は、これまでのプラットフォームスクウェアに関する取り組みの総括と考えている。令和6年5月を目途に報告したい。今回の調査結果を今後の事業にどう生かしていくか現在のところ未定だが、有効な活用・連携について検討していく。

(評議員)

さくら基金の寄附金収益予算額が前期に比べて倍増しているが、達成するための方策はあるか。

(事務局)

前期からクラウドファンディングを実施している。第11期分についても多大な寄付があり前期を上回る見込みとなっている。

(評議員)

再開発・共同建築等推進組織助成について、近年実績がないのは、再開発事業の費用に比べて助成金額が少ないからではないか。助成限度額の引き上げについて検討してほしい。

(事務局)

この事業の助成対象は、再開発や共同建築の初期段階での費用負担軽減を目的としているが、他団体が助成する金額と比較すると低廉という感は否めない。今後助成上限額について検討したい。

8 閉会

以上、本日のウェブ会議システムを用いた本評議員会は、終始異常なく議案の審議を終了したので、午前11時30分に議長は閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、議長および評議員がこれに署名、押印する。

令和5年5月18日

公益財団法人まちみらい千代田
第10期第4回評議員会

議 長 鈴 木 潔 ⑩

議事録署名人 親 泊 哲 ⑩

議事録署名人 山 本 久 喜 ⑩